

豊かな学びを育むトータルカリキュラムの創造

「生きること」と「学ぶこと」の統合をめざして

6月9日（金）平成18年度附属坂出中学校教育研究発表会が盛大に行われました。

当日は、県内外の小・中・高、大学及び教育関係機関より600名前後の参会者をお迎えして、本校の教育実践をご覧いただくとともに、これまで取り組んで参りました研究を広く全国に発信しました。

今回の研究発表会では、「生きること」と「学ぶこと」の統合をキーワードとして、大きくは次の2点、「ユニット化」及び「学びの意味化」を提案いたしました。

ユニット化

「生きる力」を育むためには、各教科、道徳、特別活動の各領域を互いに補完させることにより、人間形成的な視野を含んだ有機的なカリキュラムづくりが求められます。

そのために、五大大行事「校外学習（歩く日・宿泊学習・修学旅行）平和学習、運動会、文化祭、送別芸能祭」のそれぞれに関連した教科や道徳の内容を設定したり、各学年の発達段階や重点的なねらいに応じて各領域を結びつけたりするユニット化を図りました。

1年テーマ：人とのかかわり

1・2組「仲間づくりで大切なもの」、3組「相手も自分も気持ちよいコミュニケーション」

期待と不安の中で始まった中学校生活を充実したものとするために、まず認め合い信頼できる友人関係や協力できる集団づくりについて4月当初の校外学習「歩く日」からの流れをふまえ、道徳、学級活動の授業公開をいたしました。



どの場面でも、生徒たちがさまざまな立場に寄り添った意見を出し、考えを深めることができました。

2年テーマ：自己の生き方・在り方

2年生全員「将来の夢」～私の職業選択～

中学校生活の1年間を終え、子どもから大人への成長が心身ともに図られていく2年生。集団を基本に、自己の生き方、在り方を問い始める時期でもあります。学校での学びを将来どのように生かし、自己実現を図ろうと考えるか。パネルディスカッションによって、自分の夢を職業観と結びつけながら意見を組み交わし、よりよい自分像を模索することができたと思います。



3年テーマ：平和・人権

3年生全員「平和の尊さ」

修学旅行長崎で学んだこと・感じたことを通して、平和に関する自分の考えをまとめました。それらを学年全体で「平和の誓い」として集約し、その思いを、各国大使館へと発信することを通して、国際的な相互理解へ広げようとしています。授業では、グループの調査をもとに平和に関する討論学習を学年全体で行いました。各発表グループの内容も提案性の高いものでしたが、フロアーからの質疑応答も鋭く、的を射た発言が繰り返されました。



学びの意味化

「確かな学力」といえば、基礎・基本の習熟と徹底がまず思い浮かびます。しかし、一方では、それが画一的な知識・技能を無意図的に記憶させることのみで終始してしまうと、結果として、生徒は学びの目的や価値を見いだせず、学ぶ意欲を喪失してしまうかもしれません。

こうしたことを私たちは謙虚に受けとめ、「『学びの意味化』を促す学習構造」として、そこでの学びで身に付けた知識・技能、体力、合理的な思考、判断、芽生えた心情、態度などが、どれほど価値あるものかに気付かせる授業を開発すると同時に、より効率的に学びの意味を実感させる手だてとして、単元内での学びの質的内容をもう一度分類・整理し直しました。

各教科（公開授業）の内容

教科	学年・組	会場	研究課題と研究授業の内容	授業者	指導者
国語	1 - 3 授業	1-3教室	「さんちき」他 三吉に対する言動から親方の厳しさや優しさを読み取り、他の作品との比較読みによって言動の裏にある真の思いについて考え深める授業を行う。	佐藤 浩二	香川県教育委員会 山下 昌宏 先生
	2 - 1 授業	2-1教室	「僕の防空壕」 作品中に描かれる「悲しみ」を、生徒の感性に基づいて読み取らせ、交流を図りながら戦争を背景とした新たな「悲しみ」の意味認識として再構成する。	佐藤 宏一	香川大学 佐藤 明宏 先生
	研究協議会	2-2教室	豊かな言語認識の深化・拡充をめざす国語科授業の在り方 ・生きて働く言語能力の育成を目指す単元構造およびカリキュラムの構築・		
社会	1 - 1 授業	情報検索室	「日本をいくつかの地域に分けよう」 生徒一人一人が三重県の地域区分をどのように考え、どのような根拠で結論を導き出したかを具体的、論理的に説明することができる授業を行う。	安藤 孝泰	香川県教育委員会 大谷 伸一 先生
	3 - 2 授業	情報検索室	「人権と日本国憲法」 修学旅行での平和学習における実体験と現在の状況をからませ、日本国憲法の基本原理の1つである平和主義、憲法第9条の改正問題を考える。	北岡 隆	香川大学 伊藤 康裕 先生
	研究協議会	情報検索室	社会的自己確立する生徒の育成を目指した社会科授業のあり方 ・「生きること」と「学ぶこと」の統合を目指した社会科カリキュラムの構築		
数学	3 - 1 授業	3-1教室	「関数」 生活の中にある事象を題材にして、その課題解決を行う。その課題解決を行う過程でグラフを利用し、関数のよさを実感できる授業を行う。	半山 章人	香川県教育委員会 安藤 紳一 先生
	2 - 2 授業	1-1教室	「確率」 確率の発展教材である「期待値」の授業を通して、確率の意味や有効性に自然と気づくような授業をめざす。	木谷 直充	香川大学 長谷川 順一 先生
	研究協議会	1-2教室	数学的な見方や考え方のよさを知り、よりよく生きるための数学教育のあり方 ・数学を学習するよさや意味が実感できる数学科カリキュラムの構築・		
理科	1 - 2 授業	理科 教室	「光の世界」 もの見え方が実際と大きく違うことが生活の中にはたくさんある。この不思議を探求し、解決できた実感を生徒が感得できる授業を行う。	石川 恭広	香川県教育委員会 高橋 佳生 先生
	1 - 1 授業	理科 教室	「身近な生物の観察」 様々な植物を実際に観察する場面を意図的に授業に組み込んでいく。そして、疑問をもって自然を直接観察することの意義を生徒に実感させる。	長谷川 忍	香川大学 川勝 博 先生
	研究協議会	理科 教室	科学リテラシーを身につけ、「生きること」につながる理科教育 ・科学的な見方・考え方を生活に活用できる理科カリキュラムの構築・		
音楽	1 - 3 授業	音楽室	「音の強弱の変化の工夫を味わって表現しよう」 「花が咲いている」と特徴的な音の動きと強弱の変化が工夫された「夏の思い出」を教材にして、そこで表現された作者のこころを味わう。	十川 裕史	香川県教育委員会 臼井 隆 先生
	研究協議会	音楽室	音楽が表現する美しさとかかわることができる音楽学習を目指して ・新しい領域による音楽科カリキュラムの構築・		香川大学 岡田 知也 先生

教科	学年・組	会場	研究課題と研究授業の内容	授業者	指導者
美術	3 - 3	特別室 104	「画家たちの告発」ゲルニカ他（鑑賞） 「ゲルニカ」をコンピューターで再構成することによって造形理解を促すとともに、画家たちがどのように戦争や平和と向き合ってきたかを見つめる。	河内 直人	香川県教育委員会 佐々木啓祐 先生 香川大学 安東恭一郎 先生
	2 - 3	美術室	「マンガ文化考」（鑑賞） 世界中の若者文化にとけ込むマンガに、どのような表現の特徴や造形的なよさがあるのかを考え、新しいメディアとしてのマンガ観について考える。		
	研究協議会	美術室	見る力・感じる力を高め、学びの意味を実感させる美術科教育 ・鑑賞の発達段階に基づいた美術科カリキュラムの構築・		
保健体育	2 - 1	体育館	「ソーラン節」 日本の代表的民謡である「ソーラン節」の踊りを通して、その魅力に迫り、日本の伝統文化について考える授業を行う。	長尾 健司 千木良佳亜	香川県教育委員会 平野 勝也 先生 香川大学 米村 耕平 先生
	3 - 3	体育館	「ソフトボール」 一球の行方に全員が集中し、「みんなで守るソフトボール」をめざす。カバーリングの動きから、一人一人の動きの意味について考える。		
	研究協議会	武道館1階	運動を通して、身体・仲間とのかかわりを創造する保健体育学習 ・「豊かな心と体づくり」を旨とした保健体育科カリキュラムの構築・		
技術・家庭	2 - 2	家庭科室	「食品の選び方を考えよう」 売り手と買い手、それぞれの立場から食品選びの視点を明らかにし、模擬販売を通して食生活における消費者としての在り方を考えていく。	齋藤 恵子 氏家 徹也	香川県教育委員会 久保田恭子 先生 香川大学 黒田 勉 先生
	1 - 2	特別室 104	「情報伝達の在り方」 身近な人の紹介文等をコンピューターを用いて作成する中で、基礎的な知識・技術を身に付けるとともに、情報発信者としてのモラルについて考える。		
	研究協議会	家庭科室	よりよい生活をめざした技術・家庭科学習の在り方 ・生活の見方や考え方を習得し生活化できる技術・家庭科カリキュラムの構築・		
外国語	2 - 3	2・3教室	「将来の夢を語ろう」 将来なりたい職業やしたいことを様々な視点から表現するとともに、自分の夢と英語学習を結びつけて捉え、より豊かな生き方を考えていく。	西村小夜子 小川 正晃	香川県教育委員会 菅 瑞穂 先生 香川大学 竹中 龍範 先生
	3 - 1	3・1教室	「このテーマで話したい」 中学生が外国人と英語を用いてどれほど内容のある会話ができるのか？ALTと「会話の内容」にこだわったFree Talkを行い、よりよい会話をめざす。		
	研究協議会	3・2教室	「つなげる」「広げる」コミュニケーションを求めて ・コミュニケーション意欲を芽生え、高めさせるカリキュラムの構築・		
学活	3 - 2	1・1教室	「生命尊重」-いのちの根を深めていくために - 中生命尊重を中心におき、科学的知識を身につけるだけでなく、自他の存在を大切に思い、認め合っていけるように心構えにもせまる授業を行います。	北岡 隆 前田 裕美	香川県教育委員会 尾形 恭子 先生 香川大学 藪添 隆一 先生
学校保健		保健室	「養護教諭の専門性を生かした指導・支援について」 公開授業や講話を通して、養護教諭の専門性を生かした性に関する指導のあり方と健康な心づくりへの支援の方法を考えます。	前田 裕美	
		講 話	心を生かす性教育	香川大学教育学部 教授 藪添 隆一 先生	

各学年のユニット

学年	会場	ユニットテーマと主題・授業の内容	授業者
1	1・1教室 1・2教室 1・3教室	『人とのかかわり』	木谷 直充 小川 正晃 千木良佳亜
		「仲間づくり」 期待と不安の中で始まった中学校生活を充実したものとするために、まず認め合い信頼できる友人関係や協力できる集団づくりをめざす。4月当初の校外学習「歩く日」からの流れをふまえ、道徳2時間（葛藤教材を用いた学習）、学級活動1時間（日常生活を見つめ直して個や集団の在り方を考える学習）の単元を設定し、本時では、3時間のそれぞれの授業段階を各学級毎に公開する。	
2	体育館	『自己の生き方・在り方』	佐藤 宏一 齋藤 恵子 長谷川 忍 氏家 徹也 西村小夜子
		「将来の夢」 私の職業選択 中学校生活の1年間を終え、子どもから大人への成長が心身ともに図られていく2年生。集団を基本に、自己の生き方、在り方を問い始める時期でもある。学校での学びを将来どのように生かし、自己実現を図ろうと考えるか。本時では生徒の夢を職業観と結びつけながら、自己の生き方としてパネルディスカッションを行い、思考の追求を図る学習を学年団全体で展開する。	
3	武道館2階	『平和・人権』	半山 章人 北岡 隆 石川 恭広 河内 直人 齋藤 穂翼
		「平和学習」 教科で学んだこと、修学旅行において長崎の自主研修や被爆体験者の講話で聞いたこと・見たこと・感じたことを通して、平和に関する自分の考えをまとめる。本時はそのまとめを発信し、グループ間での違いや共通点をもとに平和についての討論学習を学年団全体で行う。さらに、本時の学習から8月15日を目標に自分たちは今、何をすべきかをユニット全体の中で考えさせていく。	



国語



社会



数学



理科



音楽



美術



保健体育



技術・家庭



外国語

各教科の公開授業後には、参加者の多くから心温まる賛同の声が寄せられ、私たちの大きな励みとなりました。これも、本校生徒一人一人の頑張りや各校園の諸先生方、そして保護者の皆様のご理解があってもことと深く感謝いたし、これからもこの実践を坂出から全国に発信していきたいと思っています。ありがとうございました。

